



LED Lighting Systems



Case Studies

Catalogue 2016

Lighting a Stadium, Bridge, Building



© 2016 Philips Lighting Japan G.K.
記載されている製品名などの固有名称は、Philips またはその他の会社の商標または登録商標です。
掲載内容は、2016年8月現在のものです。印刷のため、実際の色とは異なります。

事例集カタログ2016

都市と人をつなぐ新しい照明のカタチ

過去20年にわたり、演出照明は単なる安全性と可視性のための手段だけではなく、都市開発にも大きな役割を担ってきました。

フィリップス・カラーキネティクスが考える都市の活性化に重要なものは、安全性に加え、建造物の美しさや活気といったものに独自性を生み出すことです。ダイナミックでインテリジェントな演出照明によって建物が彩られ、価値を高めます。

それは単なるイルミネーションという概念を超え……、1つの建物を1つのシンボルとして街の名所である建築物や建造物を美しく照らして際立たせ、人を魅了し、人が訪れたいような“誇れる街”を実現します。フィリップス・カラーキネティクスが、都市と人をつなぐ新しい演出照明を提案します。

誇りに思える街へ。

Feel proud of **your city**

Leading-Edge Color LED Lighting solutions

幅広い製品レンジで イメージ通りの演出を実現する カラー演出照明システム

フィリップス・カラーキネティクスのカラー演出照明は器具・コントローラー・電源共に充実した製品ラインアップ。プロジェクトに必要な器具タイプを幅広い製品レンジより選定が可能であり、それらの異なる器具タイプをシンプルなシステム構成で一括制御が可能です。長年のLEDカラーライティングのノウハウにより、屋内外を問わず質の高いカラー演出照明の光をご提供いたします。

コーブ/ウォールウォッシュ

建物の近くからメインとなる部分を強調して背景とのコントラストを作り出したり、少し離れたところから控えめにその存在感を浮かび上がらせることもできます。

投光/スポット

光源を地面近くに設置し光を照射することによって、建築物の質感や形態を浮かび上がらせます。また、細部を照らし出し、リズムとコントラストを作り出すことができます。

ダイレクトビュー

その特徴は、照明面ではなく、光源そのものにあります。点や線、あるいは面で、建築物の新しい表情を作り出し、映像的な効果をもたらします。高解像度なイルミネーションによって、建物自体を通信媒体として利用することもできます。

ActiveSite アクティブサイト

演出照明の安心と柔軟性をお届けする フィリップス・カラーキネティクスの ActiveSite

ActiveSite(アクティブサイト)は演出照明の「コントロール」「モニタリング」「メンテナンス」を管理する、史上初のクラウドホスト型コネクテッド・ライティングの照明ソリューションです。オフィスや、自宅、あるいは移動中における複数の現場からのライトアップ演出や、トラブルを早期に解決するためのセキュリティ業務など、クラウドで管理することで、世界中のどこにいても一元コントロールが可能な拡張性の高いシステムです。



運用と管理を一元化するソフトウェアアプリケーション



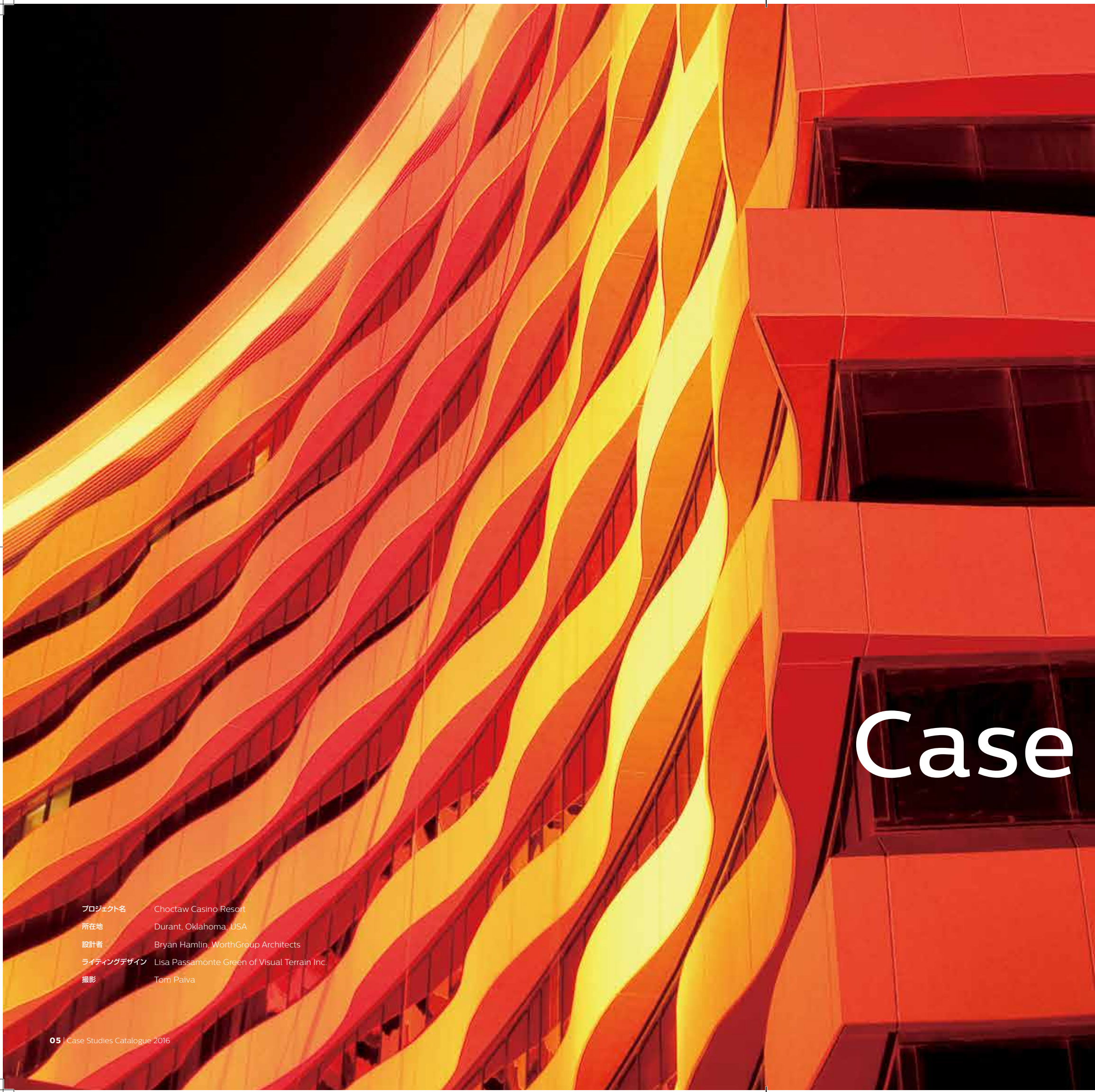
PCやタブレットを使って世界中にある施設を遠隔操作でライトアップ。コンテンツを更新することで、休日やイベント時など、新たなライトショーの事前設定も可能です。



メールアラートやステータスレポートなど、全ての照明システムの稼働状況をリアルタイムでモニタリング。より多くの情報を得ることで、問題を早期に見つけます。



ソフトウェアの自動アップデートにより、照明システムの異常発生を遠隔地から常に検知。バグの修正、データのバックアップやリカバリーなど、セキュリティ業務をサポートします。



プロジェクト名 Choctaw Casino Resort
所在地 Durant, Oklahoma, USA
設計者 Bryan Hamlin, WorthGroup Architects
ライティングデザイン Lisa Passamonte Green of Visual Terrain Inc.
撮影 Tom Paiva

Case Studies



Stadium
スタジアム



Bridge
橋



Building
建物

ライティングツールを使用した納入事例

フィリップス・カラーキネティクスの演出照明は、世界各国のあらゆるシーンで使用されています。演出照明による新たな都市空間を「スタジアム」、「橋」、「建物」からなる3つのカテゴリーでご紹介します。感情と熱気を高めるスタジアムや、数キロ先から見える壮大な橋、人が集い地域経済を発展させる建物など、さまざまな都市や街で、今その明かりが息づいています。



Allianz Arena

ColorGraze MX4 Powercore (カラーグレイズエムエックス4 パワーコア)

2015年8月、照明分野で世界をリードするフィリップスとドイツサッカークラブのチャンピオンFCバイエルン・ミュンヘンが、美しいLED照明を纏った新スタジアム、アリアンツ・アリーナのファサードを初披露しました。ヨーロッパ最大級で、「ドイツ南部のスター」ことアリアンツ・アリーナは、ファサード全体にわたるダイナミックな照明が特徴です。26,000平方メートルの表面積を覆う300,000個以上のLED照明が、エアークッションのような特殊フィルムで包まれたファサードを鮮やかに輝かせます。最新技術を結集したフィリップスの照明システムは、デジタルコントロールが可能であり、1,600万色を再現することができます。この新テクノロジーを採用すると、従来システムと比較して60%以上の節電効果があり、CO₂に換算すると年間約362トンにも相当します。

FCバイエルン・ミュンヘンのCEOであるKarl-Heinz Rummenigge氏は、「2015/2016シーズンの試合から、観客は新しい照明設備の下でこれまでにない体験を味わうことが出来ます。フィリップスの照明の力で、私たちもアリアンツ・アリーナのピッチで行われるプレイにハイライトシーンを作ろうと考えています」と述べ、そして「新スタジアムの特徴であるスタンド上部のファサードルーフ全体の照明効果を、観客に体験していただきたいと思います。例えば、観客席のウェーブやゴールが決まった瞬間を赤と白で照らし、ピッチ上のアクションのダイナミクスを引き立てます」と語りました。

フィリップスライティングのマネージングディレクター Roger Karnerlは、「新しい照明の効果により、試合中だけでなく、ゲームイベントがない時にも、アリアンツ・アリーナは大きな感動を与えることができます。スタジアムの観客だけでなくテレビで視聴するファンも同様に、独特の照明効果を楽しむことができます」と語りました。また、「フルデジタルのインテリジェント・コントロールを導入し、アリアンツ・アリーナ独特の構造に合わせたシステムを構築しています。この特徴的なシステム開発のために、3大陸からフィリップスのノウハウを結集しました。」と強調しました。

試合がない日の時刻は、FCバイエルン・ミュンヘンのチームカラーを繊細かつエレガントに変化させ、波や雲のフォルムや、水平方向や縦方向の模様といった色彩効果を演出することができます。照明コンセプトは、世界的に有名な建築家ユニットHerzog & de Meuronが開発しました。彼らは、都市景観を向上させるこの光り輝く建造物の独創性を引き立たせました。スタジアムの前で少し立ち止まって眺めれば、その優美で繊細な動きや色の変化が分かるでしょう。



所在地	Munich, Bavaria, Germany
クライアント	Allianz Arena
設計者	Herzog & de Meuron
ライティングデザイン	Alexander Weckmer Licht und Mediensysteme GmbH
敷設業者	Elin GmbH & Co KG



所在地 Tampa, Florida
 設計会社 Infinite Scale Design
 ライティングデザイン Dall Brown
 プログラミング・インストール Bay Stage Lighting
 撮影 Stephen Kovich

Raymond James Stadium

ColorReach Powercore (カラーリーチ パワーコア)

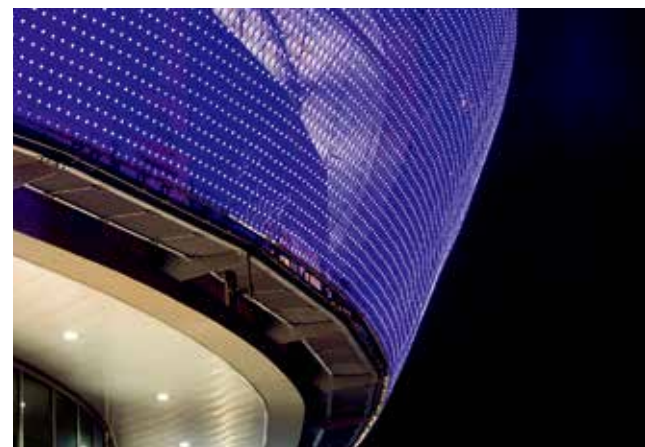
フロリダ州タンパにあるRaymond James Stadiumは、2009年2月1日のスーパーボウル開催に合わせた街全体の美化の取り組みの一環として、ゲーム開始までの期間、フィリップスの最先端LED照明で照らし出されました。

第43回スーパーボウルに向けてタンパ市全体のデザインとプランニングを担当したInfinite Scale Design社とそのチームは、1月27日から試合当日までの期間、カスタマイズ可能なカラフルな照明でスタジアムをライトアップすることで、タンパ市民とNFLファンの注目を集めるダイナミックな場所にしたいと考えました。その結果、照明デザイナーであるDall Brownとともに、大規模建築用LED投光ライトColorReach Powercoreを使い、外部クラウン部分を引き立たせることに決めました。

Raymond James Stadiumの照明は、何百万もの色と色彩変化による効果を各照明器具にプログラムし、専用ソフトColorPlay 3を使ってiPlayerU 3でコントロールすることにより、記憶再生装置で対戦チームカラーをディスプレイしたり、まばゆいばかりの照明効果を出したりすることが可能となりました。LED Sourceから照明器具の供給を受け、タンパのエンターテインメント・ソリューション・プロバイダBay Stage Lightingがプログラムと設置を担当しました。

ColorReach Powercoreは、ダイナミックな効果を出したばかりでなく、NFLが近年取り組んでいる、より環境に配慮したスーパーボウルのイベントづくりにも貢献しました。今回の期間限定のイルミネーションで必要とされたエネルギーは最小限で、各照明器具わずか290ワットでした。こういった屋外のプロジェクトで一般的に使用される従来のメタルハライド照明の消費電力は各1,600ワットで、カラー照明にはジェルを必要としています。しかしColorReach Powercoreが必要とするエネルギーは、フル稼働時でも一般的なコーヒーメーカーの必要量の半分以下で済みます。こうした優れた効果を発揮したColorReach Powercoreは、タンパの街の美しさを際立たせるとともに、その年に最も注目されたスポーツイベントの一つを盛り上げる助けとなりました。





所在地	Vienna, Austria
照明デザイン	Make it Real GmbH社 Jürgen Hassler Sineplan Ingenieurbüro社 Manfred Necker
運営会社	IG Immobilien Management GmbH社 Hermann Klein
ビルエンジニアリング	Indutherm Planungs GmbH社 Herr Köppel
プロジェクトマネジメント	Alexander Weckmer and Mediensysteme GmbH社

Stadion Center

iColor Flex SLX (アイカラー フレックス エスエルエックス)

Stadion Centerは、広さ19,974m²におよぶスペースに、さまざまなショップやレストランが建ち並ぶ商業施設。メインエントランスでひときわ目を引く斬新なメディアファサードは、大きさ640m²、ヨーロッパで最大規模を誇るビデオウォールです。この建物のデザイナーらが思い描いたのは、広告やロゴを映し出し、芸術的な照明演出が実現できる、最先端のメディアファサードでした。彼らの思い描いたデザインを表現できるように、Stadion CenterのビデオウォールにはSRGB LED ノードで構成されるフレキシブルなストランドiColor Flex SLXを使った「デジタルスキン」を使用し、表面を覆っています。ひとつひとつのノードを個々にコントロールすることで、ピクセル画のように扱うことができるため、複雑なデザインや映像上映が可能になりました。フレキシブルなメッシュ状の映像スクリーンが、ビルメインエントランスを包み込んでいます。日中はスクリーンの存在が目立つことはなく、ビルに取りつけられている従来の電飾看板を邪魔することはありません。しかし日没後は、メディアファサードがビルの姿を浮かび上げさせ、人々の目を引く映像スクリーンへと様変わりします。

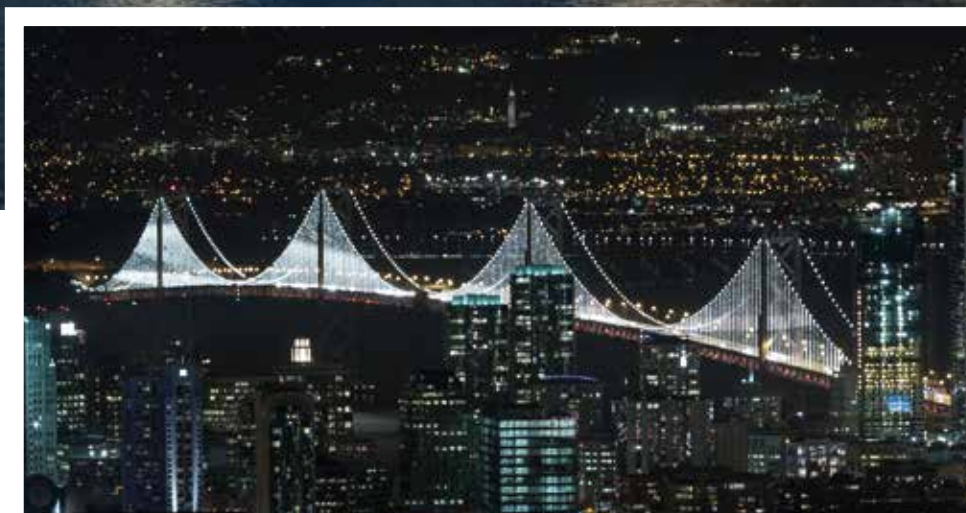
San Francisco- Oakland Bay Bridge

eW Flex SLX (イーダブリュー フレックス エスエルエックス)

カリフォルニア州のサンフランシスコ湾にかかる長さ約3キロのSan Francisco – Oakland Bay Bridgeは、サンフランシスコの都市中心部とオークランドを結び、商業と交通に重要な役割を果たしています。ダブルデッキ・サスペンション・ブリッジとして建設当時では世界最長であり、現在年間1億台以上の車両が利用しています。

2011年、この橋の75周年を記念して、Illuminate the Artsとカリフォルニア州政府交通局が著名な照明アーティストであるLeo Villarealと提携し、橋の西側の径間(わたりま)を、目を見張るような光のモニュメントへと変貌させました。25,000におよぶフィリップスのColor Kinetics eW Flex SLXノードが、6か月以上かけて垂直サスペンダーケーブルに取り付けられ、橋のデッキとメインケーブルに繋がられました。4,000K白色LEDノードを12インチ(610mm)間隔で取り付けられることで、Villareal氏のユニークなプログラムを特徴付けるために設計された、低解像度の電子キャンバスを作り出しました。

Villareal氏は、カスタム・コントロール・ソリューションを用いて各ノードにプログラムを入力し、橋の西側の径間に沿って複雑なアルゴリズムとパターンを作成。照明器具の寿命が尽きるまで、理論上無限に表示の組合せを変えることができます。照明は北側を向いているので、サンフランシスコ側からは眺めることができますが、橋の上を通行する車からは見えません。この照明は2年で寿命を迎える見込みで、その間の見物客の数は5,000万人以上、収益は1億ドル近くになると予測されています。なお、エネルギー効率が高いLED製品が使用されているため、一晩あたりの電気コストはわずか30ドルです。



所在地 San Francisco California, USA
 推進担当 Ben Davis
 芸術監督 Leo Villareal, Leo Villareal Studios
 エグゼクティブプロデューサー Amy Critchett

リードプログラマー Jason Cipriani, Leo Villareal Studios
 建築マネージャー Saeed Shahmizai, Zoon Engineering
 プロジェクト推進 Shawn Murphy, Bleyco
 プロジェクトウェブサイト www.thebaylights.org



所在地 Da Nang, Vietnam
 照明デザイナー ASA Lighting Design Studios
 取り付け Installation TP&S Philips Vietnam
 写真撮影 Tiz Tequilar

Dragon Bridge

ColorReach Compact Powercore (カラーリーチ コンパクト パワーコア)
 ColorBurst Powercore (カラーバースト パワーコア)
 iColor Flex LMX (アイカラー フレックス エルエムエックス)
 ColorReach Powercore (カラーリーチ パワーコア)

活気あふれるリゾート都市ダナンに建設する新しい橋を、ダナン市は全長2,000フィート(610m)の竜の形に設計すると決定しました。ベトナムでは、竜が文化的シンボルとして大切にされています。ダナン市は、ベトナム人にとっての竜の重要性を明示することができるような照明を、この橋に施すことを希望しました。

フィリップス・カラーキネティクスがこの鉄骨建造物のイルミネーションを担当することになったとき、プロジェクトチームは現地に赴き、LED照明ソリューションをいかにして伝統的な幸運の価値観とシンクロさせるかについてダナン市と話し合いました。チームが使用することに決めたのは、カラーバースト・パワーコアLEDスポットライトでした。橋の上部のカーブにスポットライトを正確に設置することで、竜を空にくっきりと浮かび上がらせることができました。チームはこの荘厳な竜の背景として、カラーリーチ・パワーコア(現在はカラーリーチ・パワーコア・ジェネレーション2)とカラーリーチ・コンパクト・パワーコアのLED投光器のコンビネーションを、アイカラーフレックス エルエムエックスのLEDノードのストランドとともに据えつけました。この照明システムは、セクション別にテストし、コミッショニング・プロセスの終了時に不具合が起きることがないように確認されました。照明器具は、橋の上を行き来する車両によって絶えず引き起こされる振動に耐性があることが繰り返しテストされ、強い光が橋の利用者の注意力をそくことがないように、十分配慮して取りつけられました。この長期にわたるプロセスが功を奏し、政府と地元民の承認を得ることができました。見事な建築とLED照明の組み合わせにより、ダナン市を訪れる観光客の数は増加しており、地元企業の活性化を助けています。

Meydan VIP Bridge and Royal Bridge

eColor Graze Powercore (イーカラー グレーズ パワーコア)

奇抜な建物が多いことで知られているドバイ。その中でさらに異彩を放つようなランドマークを作り出すのは至難の業です。その偉業が成し遂げられたのが、ナド・アルシバのメイダン競馬場へと続くVIP橋です。日中は、疾走する馬の波打つたてがみをイメージさせる、特徴的な流線型が目を引きまします。日没後は、その流れるような美しいデザインを、数千もの青色LEDがさらに際立たせ、数キロ先からも楽しめるスペクタクルを演出します。

VIP橋は、ドバイの指導者シェイク・モハメッド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥームをはじめとする賓客が利用する、競馬場の特別観覧席へと直結しています。Aurecon社の照明デザイナー Michael Twartz氏は、「VIP橋のデザイン概要は、他の橋とは一線を画するような外観で、照明はブルーに統一するように、というものでした」と振り返り、さらに「照明器具が日中の橋の外観を損なわないように、取付け部品が目立たないこと、そして照明の色に一貫性があることが特に重要でした」とも語っています。

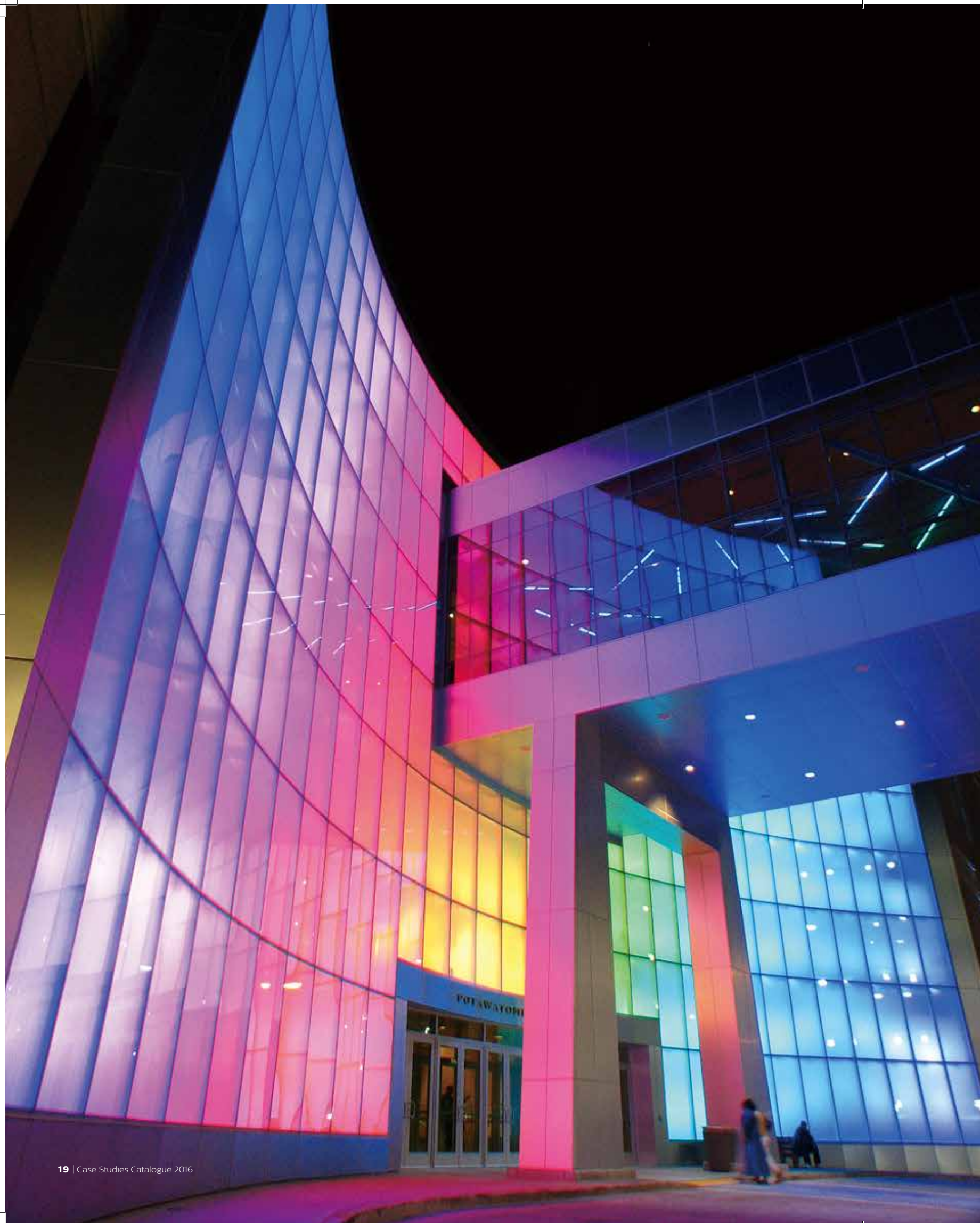
Aurecon社は考え得るいくつものソリューションを試みた結果、eW Graze Powercoreのオリジナルの白色光源を青色LED光源にカスタマイズする契約をフィリップス・カラーキネティクスと取り交わしました。現在では、青色のeColor Graze Powercoreは標準的な製品となっています。この2フィート(610mm)の照明器具は、本プロジェクトにおける照明の要件をすべて満たしており、また波形の橋の起伏に完璧にマッチしていたのです。フィリップス・カラーキネティクスがカスタムオーダーに即座に対応したことによって、Dutco社は滞りなく設置を完了させ、何ら問題なくドバイワールドカップの開催に間に合わせることができました。

この製品は、最適な色合いのブルーを鮮やかな飽和色で自然に作り出すので、コントロールソリューションを必要としません。Powercoreテクノロジーにより線間電圧から直接電源を取るため、外部電源も長たらしい付属品も不要です。

なぜこの橋の色にブルーを選んだのかという理由にはいくつかの説がありますが、競走馬のオーナーリーダーでもあるシェイク・モハメッドの勝負服がブルーだから、というのが最も有力な説です。いずれにせよ、デザイナーの努力とイマジネーションが大きな成果に繋がったことには違いありません。



所在地	Dubai, United Arab Emirates
クライアント	Roads and Transport Authority, Meydan City Corporation
建築家	Jennifer Tiong, TAK Architects
デザイン エンジニアリング	Larno Meyer社 Anton Bezuidenhout Aurecon社 Srivelan Kathirgaman
照明デザイン	Sunil D'Souza社 Michael Twartz Aurecon社 Abigail Alzaga
インсталレーション(設置)	Dutco社
写真	Philips社



Potawatomi Bingo Casino

ColorBlast 12 Powercore (カラーブラスト 12 パワーコア)
iColor MR g2 (アイカラー エムアール ジー2)
iColor Accent Powercore (アイカラー アクセント パワーコア)

ミルウォーキーのPotawatomi Bingo Casinoは、都会からの客や若年層の顧客の増加を狙い、より現代的デザインを取り入れてメノニー・バレーのカジノの魅力を引き上げました。若者たちや常連客のほとんどは車でカジノを訪れることから、カジノオーナーとデザインチームは拡張された駐車場から来場する顧客のために、ユニークかつ印象に残るエントリーポイントを作りたいと考えていました。照明と建築デザイン担当のCreative Lighting Design & EngineeringとHnedak Bobo Groupが共同で、62x123フィートの大きさのウェルカム・ウォールを作り上げました。アルミニウムとエッチングガラスパネルで作られたこのウォールは、600個以上のフィリップスのLED照明で照らされています。床から天井までを覆うイルミネーションがポタワトミを訪れるお客様を元気づけたいとお考えです。また、改修された駐車場からも目を引きます。

このウェルカム・ウォールは、4x8フィートのフロストガラス板208枚から成り、その裏側には4フィートの空間があります。照明デザイナーMarty Peck氏は、色彩変化の効果があるウォールウォッシュ照明器具ColorBlast 12 Powercoreを各ガラス板につき1つずつ指定し、裏側の空間から光を当てました。さらにPeck氏は、色が変わるiColor MR g2ランプを2つずつ、各ガラス板に向けて背壁に配置しました。ウォッシュ効果のあるColorBlast 12 Powercoreと、直視型のiColor MR g2ランプを組み合わせることによって、彼はダンスのような動きや幅広い変化を見せるユニークな外観を作り出しました。同氏によると、iColor MR g2ランプが作り出す光のピクセルが奥行きを生み出す一方で、ColorBlast 12 Powercoreがカラー照明でガラス板表面を均一に照らすとこのことです。統合型ソフトウェア&ハードウェア・ソリューションであるLight System Managerにより、照明効果の管理、オーサリング、コントロールが可能です。Peck氏も、このシステムを使用してウェルカム・ウォールの多様な外観や効果を作り出しました。Light System Managerを用いて、環境をテーマとしたシーン(炎と残り火、雨と雷、星々とオーロラなど)や抽象的なイメージ(マトリックス、タイムトンネルなど)といった多種多様な効果を、動画にしたり、ダイナミックに変化させたり、クロスフェードさせたりすることができます。さらに、ウェルカム・ウォールと駐車場の建物を繋ぐ橋には、64本の8フィート直管型LED、iColor Accent Powercoreが使用されています。橋の天井部分に幾何学的に配置され、ウェルカム・ウォールに表示されている光のショーとマッチするようにデザインされています。

Potawatomi Bingo Casinoは各地からのお客様を惹きつけ、ミルウォーキーの都市の景観に輝きを添えています。



所在地	Milwaukee, Wisconsin
設計者	Hnedak Bobo Group
設計会社	Marty Peck, Creative Lighting Design & Engineering
撮影	Marty Peck



Belfast City Hall

ColorBurst Powercore (カラーバースト パワーコア)
 ColorBlast Powercore (カラーブラスト パワーコア)
 ColorGraze Powercore (カラーグレイズ パワーコア)
 iW Blast Powercore (アイダブリュー プラスト パワーコア)

1906年にオープンして以来、北アイルランドの首都であるベルファストの市庁舎は、市民の誇りの大きな源であるとともに、ベルファスト発展のシンボルであり続けています。その伝統的なバロック復古建築と美しい芝生や庭園は、住民にも観光客にも人気のスポットとなっています。何よりも重要なのは、ベルファストの地方統治機構であるベルファスト市議会がこの市庁舎の中にあるということです。

EU(欧州連合)は、ソリッドステート照明技術をヨーロッパ各地の都市に幅広く応用することで、その実行可能性と利点を実証するILLUMINATEプログラムに取り組んでおり、この市庁舎は、プログラムのパイロット版として選ばれたヨーロッパの7つの建造物の一つでした。計画途中、市議会は技術上・予算上の課題に何度もぶつかりました。

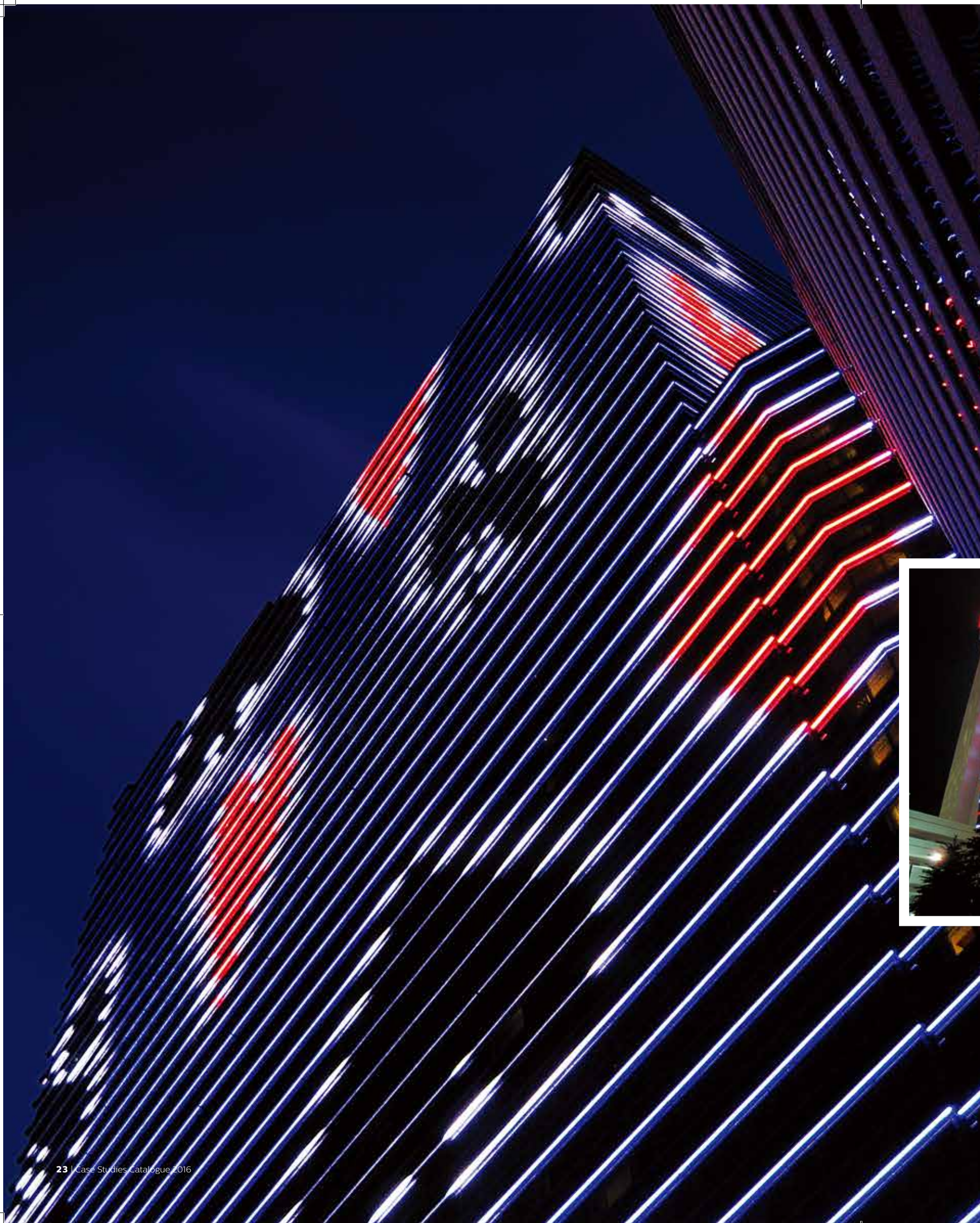
ベルファスト市庁舎は歴史的建造物のリストに名を連ねており、再配線を含めた物理的・構造的変更に関する厳しい規定の対象となっています。さらに新しいLED照明システムのためにケーブルを敷設すると法外な費用がかかり、割り当てられた予算を超過することが予想されました。

そこでフィリップスは、既存の電気と物理的インフラを利用して、ダイナミックでデジタル制御可能なLED照明システムを低価格で設置することを提案。フィリップス・カラーキネティクスソリューションおよびインテリパワーは、高額な再配線に代わる効率的な選択肢となりました。インテリパワーを使用することで、既存の電気配線を再利用して、取り付け費用を低減することができ、市議会は予算超過を回避することができたのです。

フィリップス・カラーキネティクスのカラーバースト・パワーコア、カラーブラスト・パワーコア、カラーグレイズ・パワーコア(現在はカラーグレイズ エムエックス パワーコア)、アイダブリュー プラスト パワーコアといったLED照明器具は、夜間の市庁舎のファサードに、温白色から青味がかった白色までの多様な光で陰影をつくります。また特別な日には色が変わるエフェクトを生み出すこともできます。このシステムによって、年間の電気料金は約21,000ドル(約220万円)の削減、年間の炭素排出は市議会の削減目標のほぼ半分にあたる約200,000ポンド(90トン)の削減が見込まれています。



所在地	Belfast, Northern Ireland
デザインチーム	Peter Horner, Belfast City Council, Design Officer
ベルファスト市庁舎プロジェクトチーム	Gerry McFall, Belfast City Council Property Maintenance Manager
デザイン・コンサルテーション	Annette Tang, TIR Lighting Design
電気設備設置	JD McGeown, Electrical Installer
写真撮影	Redshift Photography



Harrah's Atlantic City Resort & Casino

iColor Accent MX Powercore (アイカラー アクセント エムエックス パワーコア)

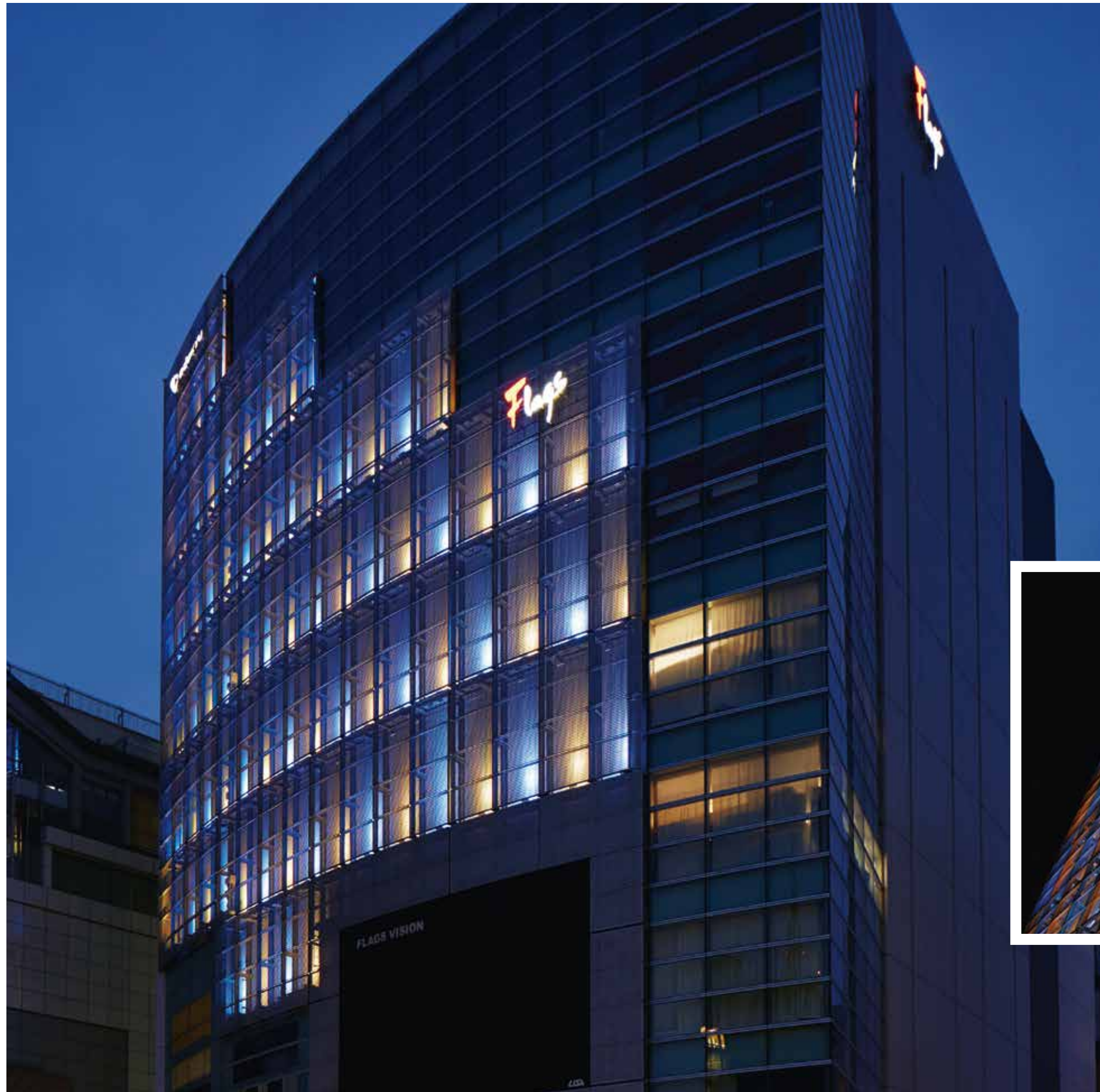
アトランティックシティで注目を集めるため、近隣の建物と外観で差別化を図ることを目的に、ハラース・リゾート・アンド・カジノは、44階建てのウォーターフロントタワーのファサードを、直線に配列した4,500を超える iColor Accent Powercoreで覆い、世界最大の屋外映像ディスプレイを作り出しました。

およそ33,000リニアフィート、ほぼ10キロに達するLEDによる「チューブ」が、ウォーターフロントタワーのファサード4面の周囲を取り囲むように配置されています。夕暮れから夜明けまで、ビル全体が巨大な映像スクリーンとなり、天体(星、彗星、流星)、愛国的な映像(はたらくアメリカ国旗と花火)、カジノにまつわる映像(転がるサイコロ、画面上を動くトランプのマーク)など、さまざまな映像を映し出します。

1.2インチ単位で解像度を制御できるiColor Accent Powercoreによって、これまでになかった場所に映像を映し出し、ダイナミックな効果を得ることが可能となりました。iColor Accent Powercoreは多くの高解像度ディスプレイが必要とする、高額な費用と面倒な設置が不要です。



所在地	Atlantic City, New Jersey, USA
ライティングデザイン	John Levy Productions
デザイン・プログラミング	Tim Hunter Design



Flags (フラッグス)

ColorBlast Powercore (カラーブラスト パワーコア)

新宿駅の東南口に直結する商業施設「Flags(フラッグス)」は、1998年に竣工。ファッション、音楽、スポーツなど、さまざまな角度から新しいスタイルを提案するファッションビルです。ゆるやかな曲面を描く建築ファサードの一部は金属メッシュパネルで覆われ、その内側は、竣工当初よりナトリウムランプによるオレンジ色の光で照らされていました。2013年10月10日に開業15周年を迎えることを機に、ファサード照明のリニューアルがおこなわれました。金属メッシュがつくる格子のひとつひとつに合うようにフルカラーLED照明が設置され、こまやかな照明演出が可能となりました。季節やバレンタイン、クリスマスなど、8種類の光のプログラムが用意され、新宿の夜景に新たな彩りを添えています。



所在地	東京都新宿区
用途	商業施設
管理	株式会社フラッグス
設計	外壁照明設計：株式会社エムクリエイツ
照明システム設計・演出サポート	カラーキネティクス・ジャパン株式会社
撮影	Nacasa & Partners



鶴ヶ城 (会津若松城)

ColorReach Compact Powercore (カラーリーチ コンパクト パワーコア)

会津若松市のシンボルである鶴ヶ城。

国内の天守閣では唯一、屋根に「赤瓦(あかがわら)」が用いられ、昼間は白漆喰と赤瓦が色彩のコントラストを見せます。2015年4月、天守閣再建から50周年を迎えることを記念し、夜間照明が一新され、フルカラーの光が採用されました。「会津うつし鏡」というコンセプトのもと、会津の文化や風土、自然が、光によって表現されます。桜や紅葉など、季節を象徴する色彩をまといながらも、会津の人々の心の象徴ともいえる天守閣の頂部は常に白く照らされ、「義」を重んじる誇り高い精神を映し出しています。

所在地	福島県会津若松市
設計	照明デザイン：岩井達弥光景デザイン
照明システム設計・演出サポート	カラーキネティクス・ジャパン株式会社
撮影	Nacasa & Partners

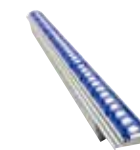


Royal Castle 【表紙】



eW Graze Powercore
※現在はeW Graze MX Powercore

Meydan VIP Bridge and Royal Bridge 【P.17-18】



eColor Graze Powercore
※現在はeColor Graze MX Powercore

Choctaw Casino Resort 【P.05-06】



ColorReach Powercore
※現在はColorReach Powercore gen2

Potawatomi Bingo Casino 【P.19-20】



ColorBlast 12 Powercore
※現在はColorBlast Powercore gen4



iColor MR g2
※現在はColor MR gen3



iColor Accent Powercore
※現在はColor Accent MX Powercore

Allianz Arena 【P.07-08】



ColorGraze MX4 Powercore

Belfast City Hall 【P.21-22】



ColorBurst Powercore
※現在はColorBurst Powercore gen2



ColorBlast Powercore
※現在はColorBlast Powercore gen4



ColorGraze Powercore
※現在はColorGraze MX Powercore



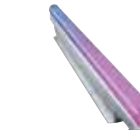
iW Blast Powercore
※現在はColorBlast IntelliHue Powercore gen4

Raymond James Stadium 【P.09-10】



ColorReach Powercore
※現在はColorReach Powercore gen2

Harrah's Atlantic City Resort & Casino 【P.23-24】



iColor Accent MX Powercore

Stadion Center 【P.11-12】



iColor Flex SLX
※現在はColor Flex LMX gen2

Flags (フラッグス) 【P.25-26】



ColorBlast Powercore
※現在はColorBlast Powercore gen4

San Francisco-Oakland Bay Bridge 【P.13-14】



eW Flex SLX
※現在はeW Flex Micro

鶴ヶ城 (会津若松城) 【P.27-28】



ColorReach Compact Powercore

Dragon Bridge 【P.15-16】



ColorReach Compact Powercore



ColorBurst Powercore
※現在はColorBurst Powercore gen2



iColor Flex LMX
※現在はColor Flex LMX gen2



ColorReach Powercore
※現在はColorReach Powercore gen2



フィリップス ライティング ジャパン合同会社

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
TEL:03-3740-5156 FAX:03-3740-5163